

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 南山す、本上、犬飼

## 2. 山城／ルート

北ア・西穂高岳 2015年度 冬山教室スタッフ終了山行

## 3. 交通手段

車

## 4. 行動記録

4/1 (金) 神戸発 21:00→道の駅奥飛騨温泉郷上宝 (4/2) 1:30

4/2 (土) ロープウェイ 8:30→穂高口 9:00→西穂高山荘 9:55/10:25→独標 11:05/11:25→西穂高岳 12:25/12:40→ピラミッドピーク 13:15/13:20→西穂高山荘 14:20→ロープウェイ 15:10 (15:45 発で下山) 帰神 23:00 行動時間 6時間 10分

## 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由  
・ 予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

- ・ 復路 4 峰飛騨側の 3m 程の下り斜面で H が 1m ほどスリップした。  
直に M が H の腕をつかみ確保、雪面にピッケルを挿してキックステップで足元を確保して体勢を立て直す。  
午後の雪面状況は表面の雪が緩み不用意に足を置くと滑りやすい状況にあった。  
ピッケルを雪面に挿しての 2 点支持歩行が出来てなかった（油断）  
(本人の弁)

滑って転倒した時、うつ伏せになって滑落停止をしようとした記憶はあります。

何度か訓練をしていたので、身体が自然に動きました。ただピッケルを持っていたものの、転倒した時に腕が伸びた状態だったのですぐにピックを差し込む動作ができず、腕を曲げようとしたときにアイゼンが雪面に引っかかって止まりました。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

- ・ 雪面の歩行技術（急斜面の登下降）についてその場で再度伝え、以後の下降については都度注意喚起をした。

## 6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- 昨年同時期よりも雪が多く、独標までの稜線は歩き易かったが、独標から西穂高岳間の雪稜、雪壁、岩場、雪面トラバースは難易度が高かった。一瞬のミスが滑落につながる。雪山歩行の総合力をステップアップできるルートである。
- ロープウェイの下山最終は 1645 であり、日帰りでの行動できる時間は 7 時間半程度。まず始発 830 に乗車することが前提で（時には順番待ちで乗車できないこともあるようだ）我々は計画通りの 6 時間 10 分で適度に休憩もとりながら日帰りピストンできた。
- 冬山教室スタッフの終了山行として企画し、目的のステップアップが達成出来た。

報告者氏名 南山房啓 2016年4月3日

